

平成27年度 第2回安曇野市社会教育委員の会議 会議概要

- 1 審議会名 第2回安曇野市社会教育委員の会議
- 2 日 時 平成27年11月10日(火) 午前10時00分から午前11時20分まで
- 3 会 場 安曇野市役所 会議室301
- 4 出席者 細田利章委員、小穴廣光委員、荻原義重委員、松尾明保委員、今村勝人委員、伊藤正住委員、倉科明生委員、山崎美子委員
- 5 市側出席者 橋渡教育長、北條教育部長、生涯学習課蓮井課長、文化課那須野課長、図書館交流課高嶋課長、社会教育担当藤森係長、社会教育担当小笠原係長、スポーツ推進担当久保田課長補佐、豊科地域課横川係長、穂高地域課曾根原課長補佐、三郷地域課竹内係長、堀金地域課大林係長、明科地域課山越課長補佐、文化振興係山田課長補佐、博物館係西山係長、図書館交流担当小林課長補佐、図書館交流担当財津係長、社会教育担当臼井主査、社会教育担当小澤主事
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成27年11月24日

協 議 事 項 等

【会議概要】

- 1 開 会
- 2 あいさつ
細田議長
橋渡教育長
- 3 協議事項
(1) 平成28年度 事業計画について
 - ・生涯学習課
 - ・地域課
 - ・文化課
 - ・図書館交流課
(2) その他
 - ・安曇野市公民館の理念について
 - ・人権のつどい講演会について
- 4 閉 会

【協議事項】

- (1) 平成28年度 事業計画について
 - 《生涯学習課各係長より説明》
 - 《地域課各係長より説明》
 - 《文化課各係長より説明》
 - 《図書館交流課各係長より説明》

(委員)

人権教育推進費のなかに「人権尊重作文」がありますが、人権教育は尊重ではなく人権に気づく事業だと思っています。そこで、人権の尊重は大事だというのではなく、気づきの作文くらいにして、どのような人権のことに気づいたのかという作文にしてまとめていくと、人権の気づきに発展していくのではないかと思います。御検討をお願いします。

(事務局)

これまで豊科地域で取り組んできた事業名が「人権尊重作文」でしたので、そのまま事業名を承継しました。ただいまの御意見を参考にさせていただき、改めたいと思います。

(委員)

新年度の計画を拝見し、全体的に努力のあとが見られて大変よいと思いました。

青少年健全育成費のなかに「寺子屋」や「かわらばん」という名称があります。こうした古い名称ではなく、「未来塾」といった発展的で夢と希望があるような名称にしていくことのほうが、新しい時代に合っていると思います。

(事務局)

この名称はまだ仮称ですので、今後実施していくにあたり、委員の皆さんの意見を取り入れて新しい名称にしていきたいと思っています。

(委員)

「あづみの寺子屋」に関連しての質問ですが、この安曇野市に学校へ来られない児童生徒がどれくらいいますか。また、個人的に寺子屋に近い事業を立ち上げている若者がいるという記事が本日の新聞に掲載されていました。そういう問題を市では援助をしていく方向なのかどうかについて教えてください。

(教育長)

現在の不登校の詳しい人数については、最新のものを御用意しますので、それでお答えしたいと思います。本日の新聞に「ひかりの学校」というフリースクールが立ち上がったということが紹介されましたが、安曇野市ではその学校への支援は今のところございません。ただ、市内にも民間の施設で不登校の児童生徒が通うようなところもあり、そこにお世話になっている子どもたちもいます。学校へはまだ足が向かなくても、そういうところでなら通えるという子どももいます。学校長とその施設の関係者とも連携をとりながら、学校へは来られないけれども、出席の扱いにさせてもらい、そこでの学習状況も確認しながら、できるところはそのようなかたちで支援をしています。

(委員)

青少年健全育成についてですが、小学生を対象とした遊び体験学習を行うという点を市としても本当に大事に考えていくべきではないかと思われまます。今の子どもたちは、遊びが非常に偏っていて、スマートフォンを使って大体知識を得て、体を動かしたり物を作るという体験が非常に欠乏しています。私は、竹トンボやゴムで飛ばす飛行機のような手作り遊びの講座や、魚釣りや木登りといった、講座ではできないけれども何か子どもに力をつける遊びを盛り込んだ視点が入ってくればいいのではないかと思います。

(事務局)

子ども体験ショーですが、昨年と一昨年に科学の実験をしてもらったサイエンスのショーということで、子どもたちにも実験をしていただきました。本年は、親と子が一緒に楽しんで参加できるコンサートを開催しました。一緒に踊ったり歌ったりして、来ていただいた皆さんから好評をいただいたかと思えます。子ども体験ショーについては、来年も同じものをやるか、また、違うものにするかについては現在検討中です。小学生を対象とした遊びの体験で計画の段階で検討している内容は、犬とのふれあい、紙飛行機やブーメランを作って飛ばす、木のおもちゃ作り、科学の実験などがあります。また、9月5日開催のあづみっ子まつりのなかで凧(たこ)作りをしました。一日だけで凧を作って飛ばすのは材料の用意などが難しいため、講座で実施することを考えています。

(委員)

図書資料購入の事業について、図書資料を購入した場合、安曇野市全体の学校の先生方あるいは図書館関係者の方が調べ学習の方法といった具体的なことを提供していくように、ぜひ考えていただきたいと思っています。

また、図書館で毎月発行している広報ですが、それを知っている方は本当に少ないと思います。図書館でいいものを作っているのに、多くの皆さんに見てもらえていません。年に数回は、全戸に回覧するものと一緒に、こういうものがあるということを知らせてほしいです。

(事務局)

調べ学習用の図書の購入については、学校図書館の司書の方との会議へ参加して情報交換を行い、学校教育課とも相談をしています。今回は、調べ学習用の図書を選定して中央図書館で購入をし、要望に応じてそれぞれの小中学校へ団体貸出しというかたちで利用していただくことを来年度とっていきたいということで、提案をさせていただきました。

また、図書館だより「La・Book（ら・ぶっく）」ですが、これは、図書館だけではなく、小中学校、保育園、市内の公共施設等にも毎月配布をしており、市の図書館のホームページにもバックナンバーを掲載していますが、なかなか見ていただけないという現状です。新聞などのメディアや、いろいろな機会をとらえてPRをしているつもりですが、もう少しPRできるように取り組みたいと考えています。

(教育部長)

先ほどの学校に行けない子どもについて、一般的には不登校ということですが、不登校の基準というのは30日以上行けない子どもということであり、その子が1年中行けなかったということではありません。平成26年度は小学校で33名、中学校で84名と、合計117名が不登校ということです。なお、平成25年度と比べて小学校で4名増、中学校で13名減ですので、合計すると平成25年度と比べて9名減という状況です。当然このなかで不登校が解消されているお子さんもいらっしゃいます。

(2) その他

《「安曇野市公民館の理念について」及び「人権のつどい講演会」の2項目について》

【終了】